

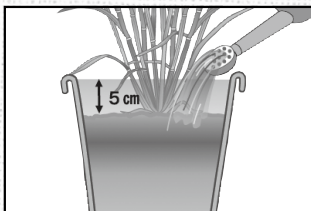
4

なか 中ぼし

なか
中ぼしをすると、土は酸素を取り込み、根は水を
求めてのびるので、じょうぶな稲が育つよ!



いね くきすう
稲の茎数が 20 本、草丈が 40 ~ 50cm 程度になったら水をぬき、
雨が入らない軒下などに移動させます。土とバケツの間に隙間
ができればバケツに水を 2cm 入れ、なくなったらまた 2cm 入れます。
4 回繰り返した後、5cm の水を入れて保ちます。



なか 中ぼしの注意点

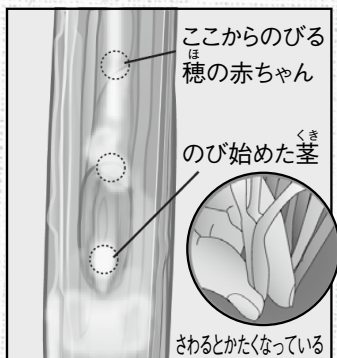
- ・中ぼしの回数は 1 回です。
- ・雨が入らず風通しの良い屋外に移してください。

※狭い容器のバケツ稲での中ぼしは、乾かし
過ぎに注意が必要です。葉が細くまるまって針
状になったり、色が黄色くなってくると水分不
足です。すぐに水を入れて中ぼしを終了して
ください。気温によっては 1 日で枯れる場合があ
りますので、よく観察しながら行いましょう。

5

お米になる

ほ
穂が出たらスズメに
食べられないように網を張ろう!



①穂の赤ちゃん(幼穂)が
できると、茎がふくらみ、
約 20 日で穂がでます。

②つぼみがわれて花がさきま
す。おしべの花粉がめしべに
つき、受粉します。



③もみの中のでんぷんが
固まって重くなり、穂がた
れてきます。



■茎がふくらみ始めてから穂が出るまでは 5cm の水を保ちます。穂が出た後は 3cm の水を保ちます。

6

いね 稲かり



いね
稲をほす時も、
スズメに気をつけて

稲かりの目安は、穂が出てから 40 ~ 45 日ごろ、穂の約 90% が黄金色になったこ
ろです。収穫予定日の 10 日くらい前に水をぬき(落水)、乾かしてから稲をかります。
かりとったら穂を下にして根元をしぼり、風通しがよい場所で 10 日ほどほします。

①落水する



②稲をかる



③稲をほす

